

ALS コミュニケーション手段 選択・見直しシート

「今使う」「次に準備」「代替・非常時」を同時に整理する記録補助

評価日

年 月 日

評価者・職種

場面

☐ 病棟

☐ 外来

☐ 在宅

☐ その他

本人が優先して伝えたい場面・内容

1 | 現在のコミュニケーション状態

☐ 発話は実用的

☐ 聞き返しが増えた

☐ 発話疲労・声量低下がある

☐ 筆談が可能

☐ Yes / No が安定

☐ 意思確認に時間を要する

ポイント：発話が保たれている時期でも、将来の変化を見越して別の手段を試し、本人・支援者が使い方に慣れておく。

2 | 入力・利用条件を確認する

☐ 指先でタッチ可能

☐ 小さな随意運動あり

☐ スイッチ操作を試せる

☐ 書字可能

☐ 視線で選択できる

☐ 眼精疲労がある

☐ 姿勢で操作性が変わる

☐ 呼吸・疲労で変動する

☐ 視覚・聴覚への配慮が必要

☐ 眼球運動に変化がある

☐ 家族・支援者が設定可能

☐ 読み書き・理解に配慮が必要

3 | コミュニケーション手段を三段構えで決める

候補	今使う	次に準備	代替・非常時	使用条件・メモ
発話・短い Yes / No	☐	☐	☐	
筆談・指差し表	☐	☐	☐	
文字盤・透明文字盤・口文字	☐	☐	☐	
PC・タブレット	☐	☐	☐	
スイッチ入力・走査入力	☐	☐	☐	
視線入力	☐	☐	☐	
その他（ ）	☐	☐	☐	

4 | 成功しやすい条件を固定する

姿勢・機器位置

照明・視認性

時間帯・連続使用時間

支援者の読み取り・確認手順

5 | 切替・再評価のトリガー

☐ 聞き返し・伝達時間が増えた

☐ 誤入力・スイッチミスが増えた

☐ 疲労・呼吸状態で使用困難

☐ 姿勢・可動域が変化した

☐ 視線入力で眼精疲労が増えた

☐ 使用頻度・本人の希望が変化した

次回見直し日 年 月 日 次回までに試すこと

6 | 共有メモ（本人の希望・切替条件・申し送り）